

松谷武判氏のコメント（楨形によるまとめ）

皆さんが作品を見て、一人ひとりの見方が違っていても、いろいろ感じて、考えて、自分の思いを表現するその在り方は、私が何か新しいものを創作しようとしているときと、全く一緒である。

私の制作の奥には、人間が一人ひとり持っている精神、ものを創作するとか、ものを考えるとか、一番奥のもの、それは口ではなかなか説明できないが、（作者はこれを後で、日常生活のその奥に人滅の本当に清らかな純粋な自分と語っている）それを作ろうとしている。

私は作っているけれど、皆さんは見て、感じてくれている。この見て、感じてくれることの大切さを、私は期待しているから、この絵をここに展示している。私は見て欲しいから、交感して欲しいから、制作している。

皆さんがこの絵を見て、様々な意見を交換してくれたのは、この絵が皆さんを挑発したということ。どのように感じたか、どのような作品を見るかは、それは見る人の自由。どちらがいいとか悪いとかは決められない。

それは歴史が決めてくれると考えるからこそ、私は正しく真剣に作らないといけない。**Wave** というと、色々なイメージがあるけれど、真っ黒に塗っているのは鉛筆、何で鉛筆かといえば、炭の世界が好きで、炭の代わりに鉛筆で、さっきの人も言ったけど、時間を埋め込んでいる、手で書くことの大切さを考えてやっている、その集積みたいなものだという事、それを皆さんが良く分かってくれた。

